

「人生で一番年齢をとっていると思う“今”」

校長 辰田 幸敏



世の中には40歳代で「人生は終わった」と思う人もいれば、60歳代で「さあ、ここからだ」と言う人もいます。

たとえば、最初の希望どおりにはならなかったとしても、「入り口はどこでもいい。出口で勝負だ」と言えるかどうか。若くして絶望する人の中には「若さ」が冷静な理解を邪魔していることもあるように思う。どれだけ若くても、自分の感覚では

今の年齢が今までの人生で一番年齢をとっているわけだから、「トシを食ったなあ。もう終わりだ」と感じてしまうのは仕方のないことかもしれない。

若いときは、自分の若さに気づいていないことが多い。しかし、40歳代以降の人は「もしも10歳代、20歳代に戻れたら…」と考える時がよくある。還暦を過ぎた私などは特にそう思うことが多い。

君たちはまだ10歳代、年齢をとってから「あの頃に戻れたら…」と後悔することがないように、“今”を精一杯生きてほしい。

<今日を捕らえよ。他日ありと信ずることなかれ！>

推薦入試・一次学力入学検査終わる - 592名に「さくら咲く」

平成26年度へ向けた推薦・一次学力入学検査も終了し、592名の合格者が本校への入学切符を手に入れました。

推薦・一次学力入学検査合格者は、入学手続を3月20日(木)に行い、「佐実」の新しい仲間となります。

また、3月21日(金)に2次学力入学検査を行います。入学願書の受け付けは3月3日(月)から20日(木)までとなっています。

より多くの仲間が、ここ、佐世保実業高等学校に集うことを期待しています。

本校の生徒・保護者への情報発信をスムーズに！

パソコン・携帯・タブレット・スマホ等、現代の情報通信機器の進化は、めまぐるしいものがありますね。学校の情報発信も、電話だけに頼らず、ホームページ等の媒体を通じて、緊急時等の連絡体制を取る必要があります。携帯等で、右の「QRコード」を読み取り、必要事項を登録すると、自動配信ができるようになりました。

是非、登録し、活用していただきますようお願いします。



登録ページ用

卒業証書授与式（普通科5回・商業科46回・工業科38回）

平成26年2月21日(金)、普通科第5回、商業科第46回、工業科38回の卒業証書授与式を挙行了しました。

今年度は、一人ひとりに卒業証書が手渡され、校長の式辞では、「ハートがあり、他から求められる人であって欲しい」という言葉が贈られ、卒業証書を手にした生徒たちは、未来への期待に胸を膨らませた輝かしい表情を見せていました。

また、在校生送辞では、生徒会長の立山憲也君が、今まで色々なことを教えてくれ、憧れだった先輩たちへの感謝の気持ちと、自分たちがこれからの佐実の発展に努めていくという決意がこめられた送辞を贈りました。それに応え、前生徒会長の増山良樹君は、野球部の甲子園出場や各部の活躍の他、3年ぶりに晴天に恵まれた体育祭、文化祭等での釜山電子工業高等学校との国際交流の思い出、今まで支えてくださった保護者・先生・在校生への感謝の気持ちを感極まる涙に堪えながら、心に残る答辞でした。

合計、187名の卒業生たちがこれからの社会で、ひとつでも多く「佐実」で学んだことを活かし、大きく羽ばたいてくれることを信じています。

